

[okazaki_171]

活動タイトル	看護学科/生活科学履修生対象のリモート講義
実施日	2024年11月19日(火)
場所	オンライン
対象数	144名
内容	<p>内容</p> <p><テーマ・ねらい></p> <p>日本医療大学保健医療学部看護学科の生活科学の講座で、「身近な生活の科学を学ぶ ～気候変動とわたしたちの暮らし～」というタイトルで、講師をつとめました。学生の皆さんにとって、なるべく身近な事として感じられるように心がけました。</p> <p><実施内容></p> <p>私がオンラインで話すのを、大講堂で、学生さんたちが受講し、次の時間にレポートを書く、というスタイルでした。オンラインではあるものの、双方向の部分を入れたいと考え、昨年同様、最初と最後に、QRコードを使ったアンケートを実施しました。</p> <p>講座の内容は、下記の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none">・QRコードを使った気候変動への実感アンケートの実施と結果の紹介・2007年から2023年までの世界の異常気象を各2秒で映すスライドショー・地球温暖化の簡単な説明および社会の変化と二酸化炭素排出量・気温の変化・ゼロカーボンの簡単な説明・若者のアクションとその背景・デコ活の紹介・緩和(吸収)の解説および国の取組、HOKKAIDO WOOD BUILDINGの事例紹介・適応の解説と事例紹介・緩和(削減)の解説と省エネ・節電の基本について・排出量だけで見ると、家庭部門は、約15%だが、カーボンフットプリントから見ると、家計からのCO2排出量は約60%となる・サステナブルファッションについて(動画紹介) <p>○環境省</p> <p>https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/</p> <p>○AOYAMA ACTION WEAR SHIFT ムービー「旅する服」</p> <p>https://www.y-aoyama.jp/aoyamaction/</p> <ul style="list-style-type: none">・ZEHの解説と健康への好影響について・ナッジや仕組みの紹介とスラッジへの注意・QRコードを使ったふりかえりアンケートと結果の共有 <p><配付資料></p> <p>投影パワーポイントの抜粋</p> <p><感想・課題></p> <ul style="list-style-type: none">・QRコードを使ったアンケートについては、「リアルさがあって、身近に感じる事ができるので良いと思う。」という感想がありました。・感想の自由記述には、「掃除をしたり、ちょっとした取り組みをすることで節電に繋が

ったりすることがわかったから、普段の生活を見直していきたい。」「一人暮らしを始めて、詳しく知りたいことがたくさん聞けて良かった。」「地球温暖化と聞いて私たちとは関係ないもののように聞こえますが、実際は私たちの生活が大きく関係していることがわかりました。」など、自分の暮らしと結びつけた内容もありました。

- ・ ナッジや仕組みの紹介は、毎年、皆さんの関心が高く、今年も、「ただ単に、ごみはごみ箱へ等ではなく、ごみを捨てたくなるような仕組み作りが素晴らしいと思った、このように人を動かせる仕組みを作るとはとても重要だと思う。」や「ナッジはすごいなと思ったが、悪いナッジもあると聞いて、言われてみればそうだなと思った。」などの感想がありました。